※令和４年度以降入学生用

学校番号	3005

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「わたしたちの地理総合　世界から日本へ」　（二宮書店出版）						
副教材等	詳解現代地図　最新版　（二宮書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は、教科書の内容に沿ってノートやプリントに書き込みながら進めていきます。
スライドで、図表や写真を提示したり、ICT 端末でネット上の教材や資料を活用しながら、視覚的に学習しやすいように提示します。
他者と協同しながら主体的に課題に取り組み、協調性を養いましょう。

２　学習の到達目標

・地図などの見方や世界の地理的事象について、基礎基本的な知識を習得し、活用する力を身につける。
・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野で物事を考えていく思考力を身につける。
・地理に関わる諸課題の解決に取り組む姿勢を育むことで、グローバル化する国際社会で主体的に生きる力、及び平和で民主的な社会の形成者として必要な資質・能力を育成することをめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連、位置や分布、人間と自然環境との関係、空間的相互依存作用などに着目して、様々な立場から考察したり、環境問題などの地理的な課題の解決方法を構想する力や、それらを効果的に説明したり、議論する力を養っている。	地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さを身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1章　地図とGISの活用 1節　地理情報と地図	・球面上での生活 ・世界地図でとらえる地球	a:球面上の位置・方位・距離と世界地図の特徴、時差の仕組みを理解している。 b:世界地図を適切に活用し、世界地図のそれぞれの用途を説明できる。 c:世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。 時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	2節　国家の領域と領土問題	・国家の領域と海洋の役割 ・日本の位置と領土問題	a:日本の位置と領域について理解している。 b:世界的視野から日本の位置をとらえ、海洋国家としての日本の特徴や役割について説明できる。 c:日本の位置と領域・海洋国家としての特徴について、自ら調べ考察しようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	3節　国内や国家間の結びつき	・国家をこえた結びつき ・観光による結びつき ・交通・通信による結びつき ・貿易・物流による結びつき	a：地球規模の地域的な結びつきと、経済活動を通じた日本と世界各国の結びつきを理解している。 b：地球規模の結びつきの視点から国際関係を整理し、国家間格差について考察している。 観光による結びつきが社会に与える影響について考察している。 c：国家間の繋がりに影響する事象を多面的に考察し、世界貿易などの地球規模の課題について自分なりの意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	4節　日常生活のさまざまな地図	・身の回りにあるさまざまな地図 ・地理情報システム（GIS）のしくみと使い方	a：地図に関する基本的な知識を身につけ、日常生活において地図を利用することができる。 b：紙の地形図と電子地形図の違いを考慮し、地図や地理情報システムを使用目的に応じて適切に表現している。 c:身の回りの地図に興味を持ち、積極的に活用し、作業学習に積極的に取り組んでいる。また地理情報の活用事例について、自ら調べることができる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

※令和４年度以降入学生用

	第２章　生活文化の多様性と国際理解 １節　自然環境と生活文化	・地球上の地形のなりたち ・山地と平野/海岸部の生活 ・地球上の気候のなりたち ・暑い気候 アフリカ ・乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル ・季節の違い　大陸の西岸と東岸 ・寒冷な気候 シベリア	a：自然環境が人々の生活文化や産業などに深く関わっていることを理解し、地形や気候の特徴を、雨温図や写真などから読み取ることができる。 地形図から地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 b：地形や気候のなりたちが考察でき、ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、地域ごとの生活文化共通点や相違点を写真や地形図から考察し表現できている。地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について、複数の資料を関連させながら説明することができる。 c：世界の地形・気候のなりたちについて興味・関心をもって授業に臨み、我が国の国土に関する諸課題を捉え、主体的に学ぼうとしている。 地形図や雨温図、主題図、写真、グラフ、統計資料などを理解し、自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	２節　産業の発展と生活文化	・農業の地域性 ・農業　南アジア ・工業の地域性 ・経済成長　中国 ・工業化 タイ・ベトナム	a：世界の産業の特徴を捉え、写真、グラフなどの資料からアジアの経済活動の発展を読み取ることができる。 b：世界の産業の特徴と自然環境や生活文化との関連性を考察し、アジア各地の経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から多角的に考察しまとめることができる。 c：グローバル化の進む産業構造と自分との関わりについて意欲的に探究し、複雑化する産業構造を複数の資料から主体的に考察し発表している。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

※令和４年度以降入学生用

後期	３節　言語・宗教と生活文化	・世界の言語 ・世界の宗教 ・仏教圏の生活文化 ・キリスト教圏の生活文化 ・イスラーム圏の生活文化 ・世界の多民族・多文化社会 ・社会の形成　ラテンアメリカ ・多文化社会　オーストラリア	a:世界の言語・宗教を通じて現代社会の諸課題の背景や現状を理解し、言語・宗教の変容を資料から読み取ることができる。日本と異文化の繋がりを考え、異文化を尊重する事ができる。 b:言語・宗教の分布の理由を考察し、世界の言語や宗教、民族に関わる諸課題の背景を構造的に認識することができる。多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し、まとめている。 c:教科書以外のさまざまな資料も用い宗教、民族に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりも考えながら主体的に捉え、多文化共生社会の実現方法について議論し、自分の意見をまとめている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	３章　地球的課題と国際協力期 １節　人口・食料問題	・世界の人口問題 ・人口増加　中国とインド ・人口停滞　スウェーデンと日本 ・世界の食料問題 ・人口増加と食料問題　アフリカ	a:各国の人口政策や諸問題について理解できる。人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在を読み取ることができる。 持続的な発展を成すため、飢餓や飢饉などの食糧問題と人口問題を関連させて理解できる。 b:世界の人口問題や食糧問題の特徴や分布を資料を用いて考察し、気候変動やモノカルチャー経済などの社会的・自然的背景と関連させながら構造的に捉え、SDGｓの目標を踏まえて解決方法を構想できる。 c:人口に関わる世界の諸問題について、主体的に考察するだけでなく自然的・社会的背景につながる資料も関連させながら意欲的に分析を進めようとしている。 食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え、国際社会の一員として具体的に行動し、未来を担う日本国民として日本の将来像について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

※令和４年度以降入学生用

	２節 居住・都市問題	・世界の居住・都市問題 ・大都市　ロンドン・ニューヨーク ・密集都市　メキシコシティ・ジャカルタ	a:都市に人口が集中する要因を資料から読み取り、人口集中による都市問題について理解し、途上国と先進国の都市問題を主題図や写真などから判読できる。 都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例を調べ、整理できる。 b:様々なスケールの人口移動と途上国・先進国それぞれの都市問題について考察し、都市政策や科学技術の事例をふまえ、主題図や統計などから多面的な解決の方策を構想できる。 c:都市の人口過密とさまざまな課題との結びつきを理解し、都市問題に関する資料を自ら収集・整理し、問いを立てながら意欲的に考察している。途上国や先進国の都市問題を事例として、先進的な都市政策を参考にしながら、主体的に課題解決策を構想している。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	３節 資源・エネルギー問題	・世界の資源・エネルギー ・エネルギー資源の生産・消費と課題 ・再生可能なエネルギーへの移行 ・鉱産資源 ロシア・オーストラリア・日本	a:エネルギー資源の変化を概観し、資料をもとに資源の偏在性、有限性、消費などの諸課題を読み取ることができる。再生可能エネルギーや省エネルギー技術、鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 b:鉱産資源やエネルギー資源の分布と将来的な需要について、資料をもとに予測し、世界的な視野から国際協力や技術開発を推進する必要性について考察し活用しようとしている。 化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し考察しようとしている。 c:エネルギー資源の問題が、自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し、世界的な視野から SDGs を達成するために主体的に考察しようとしている。 日常生活でエネルギー資源を利用していることを自覚し、エネルギーの在り方について自分の意見を持つことができる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

※令和４年度以降入学生用

	4節 地球環境問題	・地球温暖化の現状と将来 ・熱帯林の減少アマゾン・東南アジア ・砂漠化の進行アラル海	a:地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できている。 地球規模でおこる環境問題について、写真や主題図などから判読し、フローチャート図を用いて整理できている。 b:持続可能な発展を実現するために、国際的な協力体制が必要なだけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察している。 環境問題解決のため、自分自身に何ができるかを SDGs の視点から具体的な取り組みを構想しようとしている。 c:地球規模の環境問題が人々の生活に与える影響について意欲的に学び、自分のできることを探究しようとしている。 環境問題に関する資料を書籍や国際機関のウェブサイトなどから収集し、具体的な取り組みを構想しようとしている	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度